

## 1 学校の沿革

明治 7年 3月	部原村江澤潤一郎氏宅を校舎として部原小学校を開校
41年10月	東・南尋常小学校合併で豊浜小学校と改称
大正 8年 9月	現在地に校舎新築移転
昭和30年 2月	上野・総野村、興津・勝浦町町村合併により勝浦町立豊浜小学校と改称
33年10月	市制施行により勝浦市立豊浜小学校と改称
11月	保健優良学校として県教育委員会・県学校保健会・朝日新聞社より表彰を受ける
12月	創立50周年式典を実施
42年 7月	校舎新築竣工
45年 3月	全日本書初め大会全国優秀校として表彰を受ける
49年 7月	プール竣工
54年 4月	体育館落成
12月	校旗制定
58年10月	青少年赤十字加盟
62年11月	県教育委員会より教育功労賞受賞
平成 元年12月	大規模改修工事
8年11月	環境美化教育実践優良校として表彰を受ける
10年10月	日本赤十字社より銀色有功章受賞
11年 9月	パソコン導入
15年 1月	第54回千葉県小中高書初め団体優秀賞受賞
11月	第48回子ども県展学校奨励賞受賞
16年 4月	千葉県知事部局より福祉教育推進校指定（3年間）
18年11月	日本赤十字社より金色有功章受賞
20年11月	豊浜小学校創立100周年記念式典実施
22年12月	校舎耐震補強及び大規模改修工事完了
23年 3月	給水管改修工事
23年 4月	新官校門モルタル吹きつけ工事
24年	NIE（新聞活用）研究実践校
25年11月	体育館耐震補強工事完了
27年 3月	グラウンド北側防球ネット設置
28年 9月	屋上高架水槽修繕工事
29年 3月	給食運搬用リフト修繕工事
6月	児童用トイレ出入口引き戸修繕工事
8月	2階東・西階段天井落下に伴う修復工事
3階救助袋収納庫修繕工事	
30年 3月	屋上高架水槽修繕工事
11月	校舎裏倉庫修繕
31年 2月	敷地内フェンス設置工事
3月	公衆無線LAN環境ネットワーク回線敷設工事

## 2 学区の特色

学区は、勝浦市の北東部に位置し、風向明媚な入り組んだ海岸線に沿って部原、新官、沢倉、川津の4区からなる。漁師町特有の密集した家並みが続き、通学路は曲がりくねって道路幅が狭く、また、海岸に沿っての登下校のため、交通安全と、地震・津波には警戒が必要である。

学校は、太平洋を見下ろせる高台にあり、校舎からは、豊浜漁港と川津漁港が望める。保護者は、学校への協力は労を惜しまない。学校賛助会組織による学校運営資金援助がある。

## 3 児童数・家庭数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	豊育	なかよし	合計
男子	3	2(1)	4	3	7	4(1)	1	1	25
女子	1	1	3	3	2(1)	5		1	16
合計	4	3	7	6	9	9	1	2	41
家庭数	1	3	4	5	8	9	1	1	32

# 地域に開かれた教育課程の推進

学校教育  
目 標

ともに学び よく考え

はつらつとし まごころを持った 豊浜っ子の育成

<重点目標>

- 教職員の協働体制を確立し、個に応じたきめ細かな指導法の工夫・改善と向上を目指して、児童一人一人が生き活きと活動できる教育課程の編成と改善に努める。
- 家庭・地域と連携し、地域の力を活用した安全・安心で、地域に開かれた教育課程の推進を図る。

### めざす学校像

- 豊かな心を育む明るく元気な学校
- 一人ひとりが大切にされる学校
- 整った環境と安全・安心に活動できる学校
- 地域の力を活用した開かれた学校

### めざす子ども像

- ともに学びよく考える子
- はつらつとした 元気な子
- まごころを持った やさしい子

### めざす教師像

- 確かな教育観と実践力を持つ教師
- 思いやりと愛情に満ちた教師
- 共に歩む心で、助け合える教師
- 経営的視点で経営参画する教師

### 1 とともに学び よく考える子の育成

- ① 個に応じたきめ細かな指導に努め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と学習意欲を高める。（一人一人の学力の状況や日々の授業の理解度を把握し、思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫改善に努める）
- ② 言語活動と体験活動を充実させる。（学習活動を工夫し、話す・聞く・書く活動を充実し、自己表現力を高める）
- ③ 読書活動を充実する。（読み聞かせ活動の推進、学校図書館の活用、家庭での読書活動の推進など読書活動の充実を図る）
- ④ 家庭学習の充実。（家庭と連携し、家庭学習の習慣化を図る）

### 2 はつらつとした 元気な子の育成

- ① 運動の楽しさを味わう体育活動を充実し、体力の向上を図る。（運動量の確保、業間活動や部活動の活性化により、二極化解消に努める）
- ② 基本的な生活習慣を定着させる。（早寝早起き朝ご飯、歯磨き、うがい手洗いの励行、規範意識、粘り強さの育成）
- ③ 保健給食・安全指導を充実する。（栄養教諭と連携した授業公開、楽しい食事推進への家庭との連携）
- ④ 防災意識を高める。（ワンポイント避難訓練・安全教育推進・避難訓練実施により災害時の対応、防災意識の定着を図る）

### 3 まごころを持った やさしい子の育成

- ① 明るく元気なあいさつができるようにする。（節度ある態度、場に応じた言葉遣いができる）
- ② 道徳教育の充実を図る。（道徳の授業時数の確保、映像教材の活用、授業公開の推進）
- ③ 児童の心に寄り添い、一人一人を生かす活動を組織する。（自己の役割、責任感、自己有用感、協力性の育成）
- ④ 地域の人々や環境との関わりを深め、豊かな人間関係づくりに努める。（V S活動、人材活用、地域学習の推進、仲良し班（縦割り班）の活動を通じた、異学年交流）

# 地域との連携

### 1 地域素材（人・物・こと）の積極的活用

- (1) 学習・行事支援ボランティア、ゲストティーチャーの活用
  - ・読み聞かせ ・福祉体験 ・食育
  - ・自然観察 ・地域学習 ・キャリア教育 ・安全教育
- (2) 環境支援ボランティアの活用
  - ・学習環境整備、草刈り、花壇、宮繕
  - ・豊浜小「港の見える公園づくり」
- (3) 自然環境（海、山、川、生物等）の活用
- (4) 歴史、文化、施設の活用



### 2 保護者との連携

- ・学校参観日
  - ・学級懇談会 ・個人面談
  - ・学校保健委員会
  - ・豊育会総務評議委員会
  - ・学校関係者評価委員会
  - ・交通指導・避難訓練連携
  - ・生活規範の連携（3つの◎）
- （あいさつ、ありがとう、安全・安心）

### 3 情報発信

- ・学校便り発行・地域への配布・回覧
- ・学校参観日等学校説明、情報提供
- ・「連絡メール2」の活用
- ・学級通信の発行
- ・地域ふれあいコーナーの活用
- ・ホームページ更新